

記入例 18-3

特別な事情のため、所定期間未満で介護業務等に從事できなくなり、修学資金の返還について一部返還免除を申請する③

返 還 計 画 書

〇〇〇〇 年 〇 月 〇〇 日

東京都社会福祉協議会会長 様

(申請者)

住所 〒123-4567
東京都千代田区飯田橋 3-10

氏名 東京 太郎

TEL 03 (1234) 5678

修学生との関係 本人



退職日を記入してください。

下記のとおり介護福祉士等修学資金を返還したく申請します。

修学生番号	K25001	修学生氏名	東京 太郎
返還事由発生日	〇〇〇〇 年 〇 月 〇〇 日		
返還事由 *該当事由に ○をつける	1 退学した 2 貸付を辞退した 3 貸付を打切られた 4 卒業後介護業務等に從事しない等、返還猶予又は免除の対象とならない ⑤ 返還免除対象期間を満たさず介護業務等をやめた 6 返還猶予中にその理由が消滅し、返還猶予又は免除にも該当しない 7 返還猶予又は免除を受けることができるが、それを希望しない 8 その他(具体的())		
貸付内容や期間に応じた返還期間内に返還完了するように計画を立ててください。	貸付額①	〇,〇〇〇,〇〇〇円	
	返還済額②	円	
	返還免除額③	〇〇〇,〇〇〇円	
	返還額	①-②-③ 〇〇〇,〇〇〇円	
返還開始は、退職日の属する月の翌月から	貸付期間	〇〇〇〇 年〇月 ~ 〇〇〇〇年〇月 (〇〇ヶ月)	
	返還猶予期間	年 月 ~ 年 月 (ヶ月)	
	返還期間	〇〇〇〇年〇月 ~ 〇〇〇〇年〇月 (〇〇ヶ月)	
返還方法	返還方法	①月賦 ②半年賦 ③年賦 ④その他 ()	
	1回の返還額	〇〇,〇〇〇円 (初回 〇〇,〇〇〇円)	
連帯保証人	住所 〒333-3333 東京都新宿区神楽河岸 1-1 氏名 東京学 TEL03-3333-3333		

「返還免除申請書」の『免除申請額』を記入してください。

〇〇〇,〇〇〇円

1回あたりの返還額に端数が生じた場合は、初回の返還額に加算します。